



海外事業

島嶼地域沖縄で開発・改良された技術を海外へ

無償資金協力事業への参画（対象国：サモア独立国：平成 25 年 6 月 16 日～7 月 15 日）

政府開発援助（ODA）の無償資金協力事業である、「サモア独立国都市水道リハビリテーション計画準備調査」（受注：八千代エンジニアリング）へ浄水場設計の補強員として参画しました。

無償資金協力事業とは、「開発途上国の中でも所得の低い国に対して基礎生活分野の事業を実施し、事業の実施に必要な資金を、返済義務を課さないで贈与する事業」です。

サモア独立国では、未浄水処理の水（生水）が供給されている地域があります。その地域に浄水場を新設し、安心・安全な水を供給することを目的とした事業です。

今回の事業では、Vailima 地区と Tapatapao 地区にそれぞれ浄水場を建設し、老朽化した配水管の取り替えと、Vaivase-Uta 地区に配水池と送水ポンプ場の建設を日本政府の ODA で行う計画です。

この浄水場の水処理方法には、沖縄県宮古島市の経験と知識が生かされております。



写真.サモアの風景



写真.サモアのシンボル時計台